

地域課題解決支援プロジェクト 「サイクルツーリズムによる観光振興」協議会 取組実績

1 参加自治体

岡山市、倉敷市、津山市、玉野市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、備前市、赤磐市、真庭市、浅口市、里庄町、矢掛町、鏡野町、美咲町、吉備中央町(18市町)

2 コーディネーター

一般社団法人 しまなみジャパン (1年目のみ)

3 取組実績

【令和3年度】

先進地であるしまなみ海道のサイクリング施策についての学習、県内サイクリングルートの実走会等を実施し、効果的なプロモーション事業の検討を進めた。

第1回協議会 (5月21日) -----

新型コロナウイルス感染拡大を踏まえ、Web会議での開催
自己紹介、昨年度準備会議の振り返り、しまなみジャパンによる講演

講演テーマ『サイクルツーリズム助走編』

- ・サイクリングマーケットの現状
- ・来訪の動機づけ
- ・自転車の種類 など

第2回協議会 (6月10日) -----

新型コロナウイルス感染拡大を踏まえ、Web会議での開催
第1回協議会の振り返り、しまなみジャパンによる講演、質疑応答

講演テーマ『しまなみサイクリングが育んだ地域の好循環！～20年間以上にわたる地域の
努力がコンテンツ～』

- ・しまなみ海道の3大魅力！
- ・しまなみ海道のレンタサイクルの概要
- ・サイクリングイベント
- ・しまなみ海道サイクリングのリアル史、隆盛のポイント
- ・しまなみジャパンの事業紹介
- ・コロナ禍中のサイクリングの取組 など

第3回協議会 (7月27日) -----

岡山県立図書館 多目的ホールでの開催
第2回協議会の振り返り、しまなみジャパンによる講演、質疑応答、ワークショップ

講演テーマ『令和2年度しまなみ観光魅力度向上調査より「サイクリストに求められている事』』

- ・サイクリストのレベル
- ・サイクリストのイメージ
- ・サイクリングロード
- ・しまなみ海道の訪問経験
- ・しまなみ海道への期待
- ・しまなみ海道の不満点
- ・サイクルオアシスへの期待
- ・コロナ対策への期待 など

ワークショップ（4グループに分かれて作業）

- ・岡山県サイクリング VISION…県観光課より説明
- ・市町村サイクリング VISION…VISIONの共有、発表
- ・VISION達成のための課題…課題の書き出し、共有、分類、発表、現地視察でチェックするポイントの確認



第4回協議会（9月2日）

新型コロナウイルス感染拡大を踏まえ、Web会議での開催
第3回協議会の振り返り、バーチャル視察、質疑応答

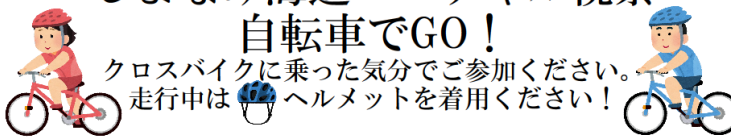

『しまなみ海道 バーチャル視察 自転車でGo!』

※予定していた現地視察が新型コロナの影響で中止となったため、オンライン視察を企画

- ・パート1 尾道編 ・パート2 今治編
- ・パート3 テーマ毎（ハード整備、サイクルオアシス、宿、レンタサイクル等）

地域課題解決支援プロジェクト
(サイクルツーリズムによる観光振興)
第4回協議会
しまなみ海道バーチャル視察
自転車でGO!
 クロスバイクに乗った気分でご参加ください。
 走行中はヘルメットを着用ください！

2021年9月2日（木）
 一般社団法人しまなみジャパン

第5回協議会（9月17日）-----

新型コロナウイルス感染拡大を踏まえ、Web会議での開催

第4回協議会の振り返り、サイクリストへのアンケート調査報告、来年度取り組みたい事業について

県内のサイクリング同好会へのアンケート調査の結果をもとに意見交換した後、各市町から来年度取り組みたい事業について発表してもらい、協議会内で共有した。

第6回協議会（10月12日）-----

岡山県立図書館 多目的ホールでの開催

第5回協議会の振り返り、しまなみジャパンからの事業提案、質疑応答

前回協議会での市町の意向を踏まえ、しまなみジャパンから、取組継続のための体制整備、観光情報誌の作成、モバイルスタンプラリーの実施など、来年度事業についての提案・説明があった。



しまなみジャパンと走ろう！県内サイクリングルート実走会-----

吉備路自転車道ルート : 10月21日 参加者11名

備中ぐるり歴史探訪ルート : 10月27日 参加者15名

「サイクリスト目線の観光振興を考えるなら、まずは実際に走ってみよう！」と県内ルー

トのポタリングを実施し、参加者からは自身で体験したからこそその様々な感想が聞かれた。



第7回協議会（10月28日）-----

岡山県立図書館 多目的ホールでの開催

第6回協議会の振り返り、事業案にかかる意見交換

前回協議会のしまなみジャパンからの提案をたたき台に、自由に意見交換し、現状を踏まえた現段階で効果的な事業は何か等について検討を進めた。

第8回協議会（11月24日）-----

岡山県立図書館 デジタル情報シアターでの開催

第7回協議会の振り返り、来年度事業にかかる検討・決定

ポタリング参加者の感想等について全体で共有した。また、これまでの検討内容を踏まえ、参加市町が連携してPRに取り組むためのツールとして、サイクリスト目線の観光情報誌（Web 展開含む）を作成することを決定し、今後の進め方について協議した。

第9回協議会（1月20日）-----

新型コロナウイルス感染拡大を踏まえ、Web会議での開催

第8回協議会の振り返り、規約の改正（備前市参加）、「るるぶ特別編集版」の制作について、来年度事業について

るるぶ作成に係るページ構成、取材方法、掲載する店舗・場所の選定、制作スケジュール及び配架計画等についてJTBから説明があり、質疑応答及び意見交換を行った。また、来年度のコーディネーターをどうするか等について協議した。

第10回協議会（2月2日）-----

新型コロナウイルス感染拡大を踏まえ、Web会議での開催

第9回協議会の振り返り、来年度予算及び事業計画について、るるぶの作成について、サブ事業の提案について

来年度予算及び事業計画の案について事務局から説明をした。また、るるぶに係る制作スケジュール及び内容等についてJTBから説明があり、意見交換を行った。さらに、サブ事業について4市町から提案を行い、コーディネーター及び事務局からコメントを付した上で、質疑応答及び意見交換を行った。

【令和4年度】

・情報誌の作成

サイクリスト目線で多数のスポットを紹介した情報誌を作成し、県内外の観光案内所、サイクルショップ等で無料配布した。

・サイクリングイベントでのプロモーション

参加市町が連携して「サイクリングしまなみ2022」に出展し、作成した情報誌等を配布するなど、サイクリストに魅力的なエリアとしてPRした。

第1回協議会（4月27日）-----

岡山県立図書館 デジタル情報シアターでの開催

自己紹介、昨年度事業の振り返り、本年度事業について

るるぶ作成に係るページ構成、タイトル案、配架計画等についてJTBから説明があり、質疑応答及び意見交換を行った。また、サイクリングしまなみ2022への出展について岡山市から発表してもらい、協議会内で共有した。

第2回協議会（7月26日）-----

岡山県立図書館 多目的ホールでの開催

るるぶの進捗状況、サイクリングしまなみ2022ブース出展、次年度以降の自走について

るるぶの編集作業に係る進捗状況及び配架についてJTBから説明があり、委託契約の内容及び二次利用について協議会内で共有した。

サイクリングしまなみ2022ブース出展については、4グループに分かれて運営業務を分担することとした。また、各市町が自団体のページについて説明を行い、他市町ページについても併せてPRできるよう、全体で情報を共有した。

次年度以降の自走については、先行事例である「天文王国おかやま」について井原市から発表してもらった後、意向調査の結果をもとに意見交換を行った。

サイクリングしまなみ2022ブース出展-----

サイクリストにやさしい魅力的なエリアとして岡山県をPRするため、瀬戸内しまなみ海道及びその周辺地域で開催される「サイクリングしまなみ2022」に出展した。

10月29日（土）、10月30日（日）

キハラパーキング（愛媛県今治市大正町）にブース出展

協議会で作成した「るるぶ特別編集『チャリ旅おかやま』」や市町の観光パンフレットな

どを配布するとともに、桃の形をした容器に取り付けられた蛇口を開けると、本県特産の清水白桃を使ったジュースが出てくる「蛇口から白桃ジュース」を提供し、岡山県のサイクリングを通じた観光誘客を図った。



第3回協議会（11月22日）-----

岡山県立図書館 多目的ホールでの開催

るるぶ特別編集「チャリ旅おかやま」、サイクリングしまなみ 2022 ブース出展、活動報告会、次年度以降の自走について

るるぶ特別編集「チャリ旅おかやま」に係る反響や感想について、市町及び関係機関から発表してもらい、協議会内で共有した。

サイクリングしまなみ 2022 ブース出展についてはグループごとに活動報告をし、出展の成果を共有した。

活動報告会については「R3年度の取組」、「るるぶ特別編集『チャリ旅おかやま』」、「サイクリングしまなみ 2022 ブース出展」及び「総括及び今後の展望」の4グループに分かれて準備を進めていくこととした。

また、次年度以降の自走について、最終意向調査の結果をもとに意見交換を行った。来年度以降は、この2年間で得た知識や経験を生かし、近隣市町と連携するなど、それぞれの市町の状況に応じた形で取り組んでいくこととなった。